

令和5年度みやま市一般会計補正予算第8号（案）の概要

1 ポイント

○補正予算額は1億4,679万円（補正後予算現額224億386万円）

- ・「脱炭素先行地域」の申請に必要な調査、関係者の合意形成、事業計画策定の支援等を委託する。
- ・定員変更及び基準額改定増に伴い、保育所等整備事業費補助金を追加する。
- ・産地の高収益化に向けた取り組みを総合的に支援するため、低コスト耐候性ハウス新設工事に対し補助する。
- ・工事費の入札結果等により、実績見込みに応じて減額補正する。また、将来負担へ備えるために減債基金へ積立てを行う。

2 一般会計歳入歳出補正予算の主なもの

(1) 脱炭素先行地域計画策定支援業務委託料

800万円

- ・脱炭素先行地域[※]の選定を目指すため、申請に必要な調査、関係者の合意形成、事業計画策定の支援等を委託する。

※脱炭素先行地域とは

環境省の事業で、地方自治体や地元企業等が中心となり、地域の特性に応じて、住宅等の電力消費に伴うCO₂排出の実質ゼロを実現する地域で、全国で少なくとも100カ所が選定される予定（現在74地域が選定済）。選定されると、有利な国庫補助事業等が活用できる。

(2) 保育所等整備事業費補助金

1億2,199万円

- ・岩田幼稚園改築：定員変更及び基準額改定に伴い不足分を追加する（+1億2,408万円）。
- ・竹井愛児園大規模改修：入札残等を減額する（△209万円）

(3) 子ども医療費

1,500万円

- ・ 令和5年10月より対象を18歳まで拡充している子ども医療費が、不足する見込のため追加補正する。

(4) 産地生産基盤パワーアップ事業費補助金

1,781万円

- ・ 産地の高収益化に向けた取り組みを総合的に支援するため、低コスト耐候性ハウス施設整備に対する補助金を追加補正する。

(5) 減債基金積立金

1億円

- ・ 将来の健全な財政運営を図るため、市債償還金の財源を確保するよう基金積立を行う。

3 補正予算の財源

○地方交付税	5億2,230万円
○分担金及び負担金	100万円
○国庫支出金	2,048万円
○県支出金	△1億6,599万円
○寄附金	2,100万円
○繰入金	△3億8,800万円
○諸収入	3,224万円
○市債	1億376万円

注) 端数処理の都合により、合計が一致しない場合があります。